



## 220回12月定例会

### 21議案を可決・承認

#### 市長3選出馬を表明

第220回定例市議会は12月13日招集され、会期を20日までの8日間と定め、理事者から提出された議案22件について審議しました。その結果「昭和60年度大野市一般会計補正予算案」「大野市農業共済条例案」など21議案を原案どおり可決・承認・同意。「昭和59年度大野市歳入歳出決算認定について」は継続審議としました。

また、16日の一般質問の中での61年7月の市長選挙出馬問題について、市長は「基本計画の実現のため、引き続き最大の努力をしたい」と3選出馬の意思を表明しました。

最終日には議員提案による「良質米奨励金と農業用水からの流水占用料に関する意見書」を可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

#### 審議日程

- |     |  |
|-----|--|
| 13日 | 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）                              |
| 16日 | 本会議（一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任、追加議案の上提、提案理由の説明、各案件委員会付託） |
| 17日 | 委員会（産業経済・建設）   |
| 18日 | 委員会（教育民生・総務）   |
| 19日 | 委員会（決算特別）  |
| 20日 | 本会議（各委員長報告質疑・討論・採決、追加議案の提案理由説明、質疑・討論・採決）             |

# 市政をきく

## 一般質問から

### 市政担当に当たり 市長の施策と決意について

**問** 川崎市政が誕生して既に2期目も終わろうとしている。その間市長は市政進展のため専心努力を傾注されてきたが、厳しい情勢の中で思い任せぬことも数多くあると思う。国道158号線を中心とした交通問題をはじめ、水の問題や若者を定着させるための工場誘致問題など、避けて通れない問題がたくさんある。こうした要請を受けて、来年7月の市長選挙に出馬の意志があるのかどうか聞きたい。

意志があるのならば、所信の一端を伺いたい。

**答** 仰せのとおり大変厳しい経済の不振の中で、国も各地方自治体も地域経済の活性化のために、いろいろの戦略や施策を立てて最大限の努力をしている。

当市においても、広域圏の中で地域経済活性化対策として、観光開発と地域産業の振興を挙げて取り組んでいる。ご指摘のように国道の整備、観光資源の発掘、地域産業の振興、企業誘致の促進など、経済活性化のための多くの問題がある。

現在、第2次基本構想に基づく

基本計画を取りまとめ中であるがこの計画の中にそうしたものを取り入れて立派な基本計画を作成し3月の議会に諮り、その実現に向け、続けて最大の努力をする決意である。

### 基本計画について

**問** 9月議会で基本構想が採択されたので、各課においてはこれに基づく基本計画の作成作業を進めているが、時あたかも新年度予算編成時期でもある現在、まだ具体的にまとまっていない基本計画について、どのように61年度予算に組み入れるのか。また、市長は61年度予算編成に当たっては「第2次大野市総合計画の着実な実現を基本姿勢として重点的な財源の配分を行っていく」と述べているが、何を重点的に行うのか。

**答** 61～65年の基本計画については現在取りまとめ中である。今

第六十六号	第六十七号	第六十八号	第六十九号	第七十号	第七十一号	第七十二号	第七十三号	第七十四号	第七十五号	第七十六号	第七十七号	第七十八号	第七十九号	第八十号	第八十一号	第八十二号	第八十三号	第八十四号	市会案第十号		
第二号)案	昭和六十年大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)案	昭和六十年大野市南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第二号)案	大野市幼稚園設置条例の一部を改正する条例案	県営土地改良事業費の負担について	専決処分の承認を求めることについて(六十年簡易水道事業特別会計補正予算(第二号))	昭和五十九年度大野市歳入歳出決算認定について	大野市農業共済条例案	大野市勝山地区広域行政事務組合規約の一部変更について	昭和六十年大野市一般会計補正予算(第四号)案	昭和六十年大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)案	昭和六十年大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)案	昭和六十年大野市南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第三号)案	昭和六十年大野市水道事業会計補正予算(第二号)案	大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	大野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	大野市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例案	教育委員会委員の任命について	公平委員会委員の選任について	人権擁護委員候補者の推薦について	良質米奨励金と農業用水からの流水占用料に関する意見書	
承	認	承	認	承	認	承	認	承	認	承	認	承	認	承	認	承	認	承	認	承	認
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決

→後懇談会等にかけ、3月議会前には議員の皆さん方に諮りたい。

61年度の事業については国や県との関係もあり、事業によってはある程度確定しているものもある。

そうしたものについては予算編成の中で検討していきたい。

重点的な配分については、今日地域経済の活性化ということが大きな課題であるので、そのために必要な予算措置を重点的にしたいと考えている。

**今冬の除雪体制について**

**問** 今年も降雪期を迎えたが、降雪時の道路パトロールをどのようにやっているのか。また、除雪の委託業者に対する監督指導はどのようにしているのか伺いたい。

さらに、今後町内または集落単位に除雪機械等を導入した場合、補助をする予定があるのかどうか聞きたい。



拡幅除雪をするロータリー除雪車

**答** 職員数の関係もあるので、毎朝市道全線パトロールは行っていない。早朝除雪完了時を8時と定めているので、平常時には8時半以降にパトロール車2台で委託路線を重点的に除雪状況、交通の状態など確認のためのパトロールをしている。その結果不良箇所があれば手直しを指示し、交通状態を見て拡幅が必要な場合には待機している保有車で除雪をしている。

除雪機械の補助については、これまで5集落に対し、トラクターにロータリーを取り付けた機械に助成をしたが、トラクターの能力や雪質等の関係から具合の良いものがないこともあるようである。

今後、効率の良い機械が開発され、集落から申し込みがあれば補助を検討したい。

工業団地の造成を計画していると聞くが、どのような計画か伺いたい。

**答** 企業誘致のためには工業用地の確保が特に必要である。工業団地とまではいかないまでも、企業の進出希望があれば立地に最も適した場所で、また、農転の見込みも立つような場所については、まえてもって諸準備を進めて、要請があった場合に早く造成出来るような用地を確保しておくべきでないかと考えている。

**婦人問題について**

**問** 今年は国連婦人の10年の仕上げの年であり、ナイロビでは世界の女性が集まって男女平等の基本理念に燃えて、大いに意気を上げた。この理念に基づいた男女の調和の姿こそ、21世紀の大野を発揮出来るものと思うが、どうか。

**答** 国連婦人の10年は終わり、法律や制度面ではかなり進んだと思うが、実社会では必ずしも平等が実現されておらず、その風潮は微弱なものではないかと思う。

今後も、それぞれのリーダーの皆さん方の協力を得ながら取り組んでいきたい。

第六十五号	第六十三号	議案番号	<b>議案等の審議結果</b>
昭和六十年大野市老人保健特別会計補正予算(第二号)案	昭和六十年大野市一般会計補正予算(第三号)案	件名	
昭和三十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)案	昭和三十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)案	結果	

**地域活性化について**

**問** 地域経済の発展の基は一にも二にも人口の増加である。新規学卒者の地元企業への雇用、Uターンによる若者の定住等が前提となり、雇用機会を作り出す施策が最も重要である。

市は昨年9月工業振興条例を制定し、受け入れ体制を整備した。

## 上・下水道について

**問** 今年は晩秋から初冬にかけての長雨のため、12月13日現在で春日観測井の水位は3.6mと例年より高かったが、翌14日からの降雪によってどれくらい低下したか。

水質難地域の上水道計画の進行状況はどうなっているのか。

また、下水道計画に伴う終末処理場の用地確保についてはどのようなになっているのか伺いたい。

**答** 春日観測井の12月13日現在の水位は3.65m、同16日は3.64mとここ数日間は安定している。

今のところ水位の低下はみられず、昨年の6.69mと比べると非常に高い。

これは今年の9～11月の雨量が950mmと昨年の3～4倍になっているためでないかと思う。

しかし、これから寒さが厳しい時期になるので、全市民に節水を願いたい。

水質難地域の上水道計画については、ほとんどの方が希望しているので、第2期計画の認可を得てできれば来年中に一部着工したい。

終末処理場の候補地については工業用地等と併せてお願いをしている。



融雪に威力を発揮する地下水



いじめのない明るく素直な子供に育ててほしい

## いじめ問題について

**問** 最近、いじめの問題が新聞・テレビ等で毎日のように報道されている。

自殺事件まで引き起こし大きな社会問題となっている。その内容も極めて複雑かつ多様化してきており、ひとりの先生だけでは解決できるものでない。家庭・学校・地域社会が一体となって真剣に取り組まなければならない問題であるが、当市の学校にはこのような問題はないのか。

**答** 毎月、各学校から教育委員会へ報告される結果をみると、今のところ新聞等で報道されているような、特に憂慮すべき事態は当市ではみられない。

しかし、乱暴な言葉遣いや仲間外れにするというような傾向は時々見受けられるが、これは指導すれば翌日には薄くなるという一過性のものである。学校では校長生徒指導主事・担任等が中心になってそういう状態を克明に調べているが、今のところ目立った姿ではないが、放っておけばやがては根になり葉になる可能性があるため、教育委員会としても地域社会

の方々の協力を得ながら、事前防止のために手を打っていきたい。

## 克雪について

**問** 当市の流雪溝の歴史は古く、天正3年金森長近公が入部して、道路の中央に用水を設けたことに始まる。近年流雪溝の整備を進めたが、先進地では当市の流雪溝に学んで、巧みに他の方式と組み合わせさせて克雪システム化を図っているところがあると聞く。

二・三年前に流雪溝で消雪実験が行れたがその結果はどうか。

利点・欠点を明らかにして浸水などの事態を解決していかなければならないと思うが、どうか。

**答** 消雪装置の実験は57年に2回58年に1回行った。川底から約10cmの所に金網を置き、下流にせきをするという方法で行ったが、雪質・気温・水温等の関係から融雪に要する時間が長く、さらに、多量のごみが流れてくるため目詰まりしたり、せきをするために家庭の排水が逆流するなどの問題が多かったため、広範囲に採用できなかった。今後、各地の資料などを取り寄せて当市にふさわしい方法を研究したい。

## 良質米奨励金の 見直しについて

問 国は財政危機を打開するために福祉・教育・農業地方自治体等への補助金等の見直しを行い削減を図っている。特に良質米奨励金は10%カ



ットの方向を打ち出している。これは現実的には生産者米価の引き下げにもつながるが、市長はどのように対応するのか。

答 北陸地方は良質米生産が特に多い所でもあり、各農家は良質米の生産に大変努力をしている。従って奨励金というよりも生産費の中に含まれるべき性質のものでないかという考え方がある。

まだどの程度削減されるか確定はしていないが、できれば前年並みということで国会議員の方々にもお願いしたい。

## 農協合併について

問 農協合併について市長は研究会を設けて進めているということであったが、今日までの経過と今後の見直しについて伺いたい。

答 現在、合併推進協議会の発足



大野市農協会館

請願・陳情審議結果			
番号	件名	提出者	結果
請願30号	民間保育行政について	大野市民間保育園園長会 代表 篠島諫二 外22名	採 択
請願31号	河川改修について	大門区長 前田 久治 外5名	採 択
請願32号	市道の拡幅及び歩道設置について	富田小学校PTA代表 尾崎 慎一 外25名	採 択
陳情21号	改築費の応分の助成について	財団法人彰徳福祉会誓念寺 保育園理事長 藤井道明 園長 藤井正美	採 択
陳情22号	応分の助成について	社会福祉法人あすなろ 福祉会理事長 焔山研吾	採 択
陳情23号	農業施設に対する応分の助成について	下丁25-13 奥村 勇治 外18名	採 択
陳情24号	市道編入について	佐開区長 合掌 郁雄	採 択
陳情25号	流雪溝の水確保について	大野の水を考える会 代表 安土 義雄	継続審査
陳情26号	市道の改良並びに流雪溝の整備について	春日二丁目東区 区長 長谷川貞幸	採 択
請願28号	黒谷・河内線林道の市道認定について	上黒谷区長 畑中吉次郎 外23名	採 択
陳情9号	ふるさと観光物産センターのホテル部分の他転用について	福井県旅館環境衛生同業 組合理事長 八木弥太郎 大野市旅館組合 組合長 宮内 健	継続審査
陳情14号	大野高等学校の移転先について	上庄をよくするつどい 会長 川田岩雄 外14名	継続審査
陳情19号	大野高等学校の移転先について	中保区長 長谷川 久 地主代表 阿古昭次郎 外8名	継続審査

に向けて両農協と話を進めている。

年内にも協議会を発足させたいが、できなければ年明け早々にも発足させ、一日も早く合併が実現するよう努力したい。

調印をみるまでにはまだ多少の時間がかかると思うが、行政としても特段の力を注ぎたい。

## 高齢化社会にむけて

問 当市の10年後の65歳以上の高齢者数は市民5人に1人の割りになるといわれているが、最も憂慮

されるのは医療問題である。10年後の医療体制の整備について伺いたい。また、このほど厚生省は施設医療から在宅福祉の充実へと方向を変えて打ち出したが、これに対し当市の対策を聞きたい。

答 地域によっては老人だけの収容施設とか、リハビリの施設等を造っているようであるが、まだ十分でないと聞いている。当市の場合には高齢者だけの医療問題ではなく、市民全体の地域医療の中で考えなければならない問題でもある。

今後、国や県と相談しながら対応したい。

## 観光行政のあり方 について

問 市は地域経済の活性化を図るため、企業誘致担当を設置して鋭意努力しているが、当市の地理的な条件等によってなかなか難しい面があり、実態は思うように進んでいない。そこで、地域経済の発展と活力ある大野市を目指すため、観光資源を開発して観光の目玉を作るべきではないか。冬期間は3スキー場に県内外から、かなりのスキー客が入り込みある程度の活力はあるが、夏場の観光客も増やすことが必要ではないかと思うがどうか。その拠点となるべき「ふるさと観光物産センター」の建設状況も聞きたい。

答 地域経済の活性化のためにはいろいろな施策を進めなければならないが、その戦略のひとつとして観光開発、観光ルートの整備を進めている。冬期間のスキー客以外に、夏場にどのように観光客を誘致するかということが大きな問題である。

地域の観光資源の発掘や観光に結びついた特産品の育成を考えなければならないし、観光協会についてもなお一層の体質の改善強化を図る必要があると思う。

ふるさと観光物産センターについては現在、懇談会を構成しいろいろ検討している。

先般も類似都市のシティホテル等を調査・研究した。今後はホテル経営面から採算に乗るか乗らないか、深く掘り下げた検討をすることになっている。



# 委員会報告

各委員長報告から

## ●総務委員会

### ①農業共済事業の広域合併について

農業共済事業の広域合併は、同事業に関する事務を共同処理することによって、事務の合理化、経費の節減を図り、地域農業の振興を推進して農業者の期待にこたえようとするものである。一部地域の条件の違いによる不均衡はやむを得ないが、早急に条例を整備して圏内の事務賦課金等の一率化について期日を明示して、農業者の理解を得るように努めるべきであるとの意見が述べられた。



## ●建設委員会

### ①除雪対策について

例年、道路除雪による自動車や物件等の破損の苦情が多い。

市は事前に関係機関と協議し、除雪作業の障害となり車両破損事故にもつながる路上駐車は絶対にやめさせるよう、強い姿勢での施策が必要であるとの意見が述べられた。



除雪の妨げになる路上駐車

## ●教育民生委員会

### ①五箇公民館の存続・廃止及び勝原小学校の取り扱いについて

「現在、地元と話し合いを重ねており、61年3月までには結論を出したい」との考え方であるが、これについては長期的な展望に立って、後々に悔いが残らないように慎重に見極めるべきであるとの意見が述べられた。

## 人事案件

### 3氏の任命・選任等に同意

教育委員会委員の任命

・黒原 孝雄 (52歳)

(元町12番2号)

公平委員会委員の選任

・永野 浅栄 (80歳)

(中挾2丁目1013番地)

人権擁護委員候補者の推薦

・小林亮之介 (59歳)

(稲郷第52号34番地)

## 決算特別委員会

委員長 木下 境、副委員長

野田幾久代、委員 藤田 護

栄 正夫・平間源治・奥村忠

光